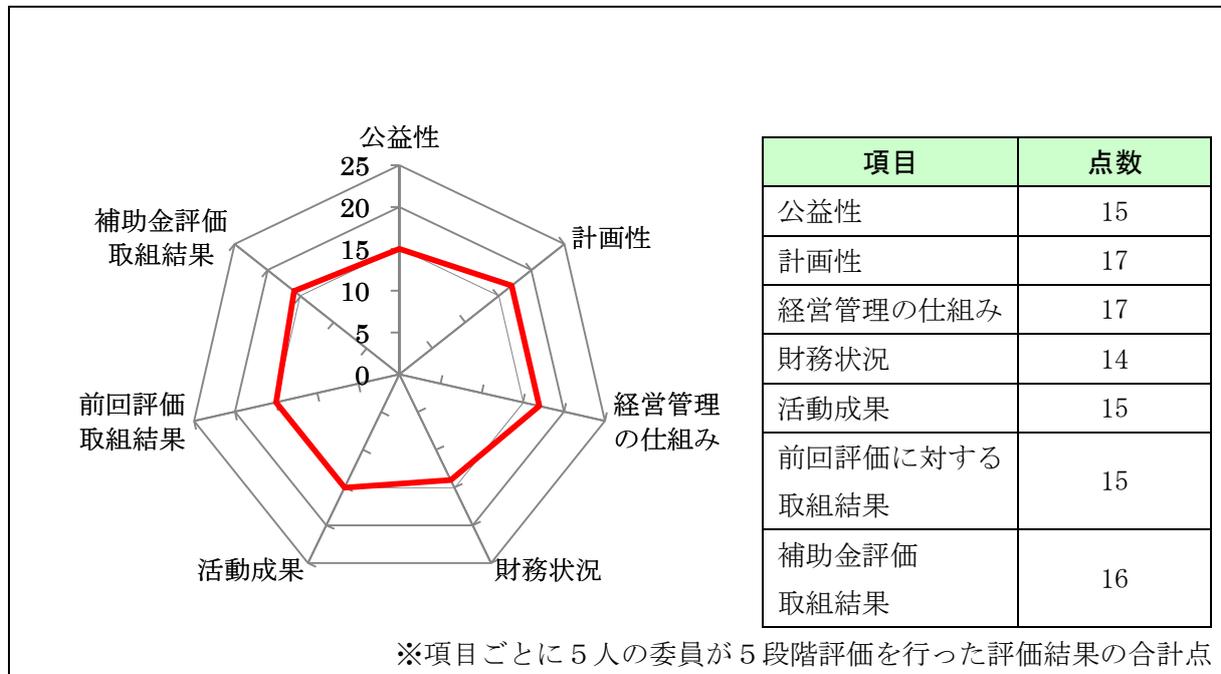


番号	3	法人名	財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 企業立地雇用課
----	---	-----	--------------------------	-----	------------------

## 1 経営内容に関する評価のレーダーチャート



## 2 経営上の課題（改善を要すると判断したもの）

### (1) 法人の課題

#### 【公益性】

- ・多種多様なサービスがある中で、利用者のニーズを適切に把握し、公益性とのバランスを考慮した事業内容の見直しを図りながら公益性の向上に取り組むことが必要です。

#### 【計画性】

- ・会員数の増加を計画しているところですが、本来の目標数を大きく下回っており、かつその低く設定した目標も達成が困難な状況です。事業の基盤となる会員拡大について、中長期的な視点に立ち、取組を強化することが必要です。

#### 【経営管理の仕組み】

- ・事業内容を広く周知するため、加入促進員を雇用するとともに、役員の協力もあわせて取組んでいるところですが、人員が少ないように見受けられるため、適正な人員配置のあり方も検討することが望まれます。

### 3 その他・参考意見等（参考としていただきたい意見や提言，委員の所感）

- 大震災後の中小企業活性化を求めるために必要なら需要は増えますが，従来と同様の取組の継続では需要は増えないと思います。
- 勤労者の福祉を目的とする事業の多くは，社会生活するうえで必要となるものに助成していますが，単なる生活費の補助では誇りある勤労青年に支持されません。
- 所管課の改善指導の意欲を感じません。
- すでに社会生活上定着している福祉施設，レジャー等にバラマキ的に利用料金を助成することに何らセンター(及び市)の企画力を感じません。
- 現会員のためソフトランディング(民間，中小企業業界に禅譲)して数年間かけての撤退も選択肢の一つです。
- 事業継続を望むなら，営業力を増やし，もっと地元企業と密接にコミュニケーションをとる役割を果たしていただきたい。（職員を青年会議所に入れるなど）昔の経営者が知っていても，これからの経営者がどのように判断するかは疑問があります。
- インターネットが普及しているこのご時世において，値下げしたチケットの企業の需要を感じません。多種多様な時代ニーズからすると時代遅れな気がします。